

2021・広大マスタースズ出前講座報告

「小学生のためのおもしろ理科実験」

その2

谷本能文・樋高義昭

- (1)令和3年7月30日 さくらもちの輪 小谷地域センター 参加者8名
- (2)令和3年8月3日 木谷地域センター 木谷地域センター 参加者10名
- (3)令和3年10月25日 やまびこクラブ 市立東志和小学校 参加者35名

(1)と(2)のテーマは、「スライムをつくってみようと冷たい冷たいマイナス196°Cの世界」であった。PVA水溶液にホウ砂水を加えスライムを作る実験と、空気の話やドライアイス・酸素ガス・液体窒素を使って、火のついた蚊取り線香やロークソックスをこれらの入ったコップの中に入れるとどうなるかなどの演示実験をした。最後は液体窒素を使った実験で、花を液体窒素に浸けると花はどうなるか、膨らませた風船を液体窒素に浸けるとどうなるかの実験である。参加者のひとりひとりに実験してもらった。小学校では扱わない初体験のこともあり、みんな歓声を挙げながら実験していた。(3)では、「磁石の不思議とレモン電池」の実験をしてもらった。スチール缶とアルミ缶を、磁石を使って調べたり、身の回り品を磁石にくっつくものとくっつかないものに分けてもらったりした。最後にレモン電池を作り電子オルゴールを鳴らす実験をした。内容が盛り沢山で、低学年の児童には少し難しい実験であったかもしれない。

いずれにせよ、こどもたちには理科の面白さを十分に体験してもらえたと思う。希望があれば、今後とも鋭意出前したいと思っている。最後に、実験の際いろいろとお手伝いいただいた関係者の皆様に感謝します。また、本講座は、広島大学大学院理学研究科自己組織化学研究室・大阪大谷大学薬学部分子化学講座のご協力をいただいた。